

資料1

農業振興に関する目標設定

平成30年7月
島根県農林水産部

1. 趣旨

- (1) 本県農業は、農地の多くを水田、とりわけ中山間地域の零細な湿田が占めており、長年コメに依存してきた。
- (2) 平成30年から米政策の見直しが実施される中で、今後、集落・地域の農地や暮らしを維持するためには、コメ依存の体質から脱却し、収益力の向上を図ることが急務。
- (3) このため、昨年度から、水田における園芸振興を本格的に推進。
- (4) このような構造改革に向けた取組の進捗状況を、「客観的な数字」で、県民や農業関係者にわかりやすく示す(「見える化」する)ために、農業産出額の目標を設定する。

2. 目標水準と達成に向けた考え方

- (1) 本県農業の構造改革を円滑に進め、可能な限り早期に
『農業産出額 730 億円(100億円増)』
『生産農業所得 300 億円(20億円増)』を目指す。
- (2) 目標の達成に向けて、これまで進めてきた取組の着実な推進を図り、
① 水田における園芸振興をはじめとする農業の収益性向上
② 中核的な農業者(新規就農者、集落営農、企業的経営体等)の確保・育成に向けた対策を集中的に講じる。

3. 目標設定の考え方

本県農地の生産性・収益性を、まずは全国平均レベルまで押し上げることを目標とする。

	耕地(本地)面積	H28農業産出額(耕種)	H28生産農業所得
全国	429.2 万ha	59,801 億円	37,558 億円
島根県	3.4 万ha	378 億円	279 億円
シェア	0.79 %	0.63 %	0.74 %
農地の収益性・生産性が全国レベルとなる(シェアが0.79%になる)場合の額		472 億円	297 億円
押上額		94 億円	18 億円

$$\left. \begin{array}{l} \text{H28年農業産出額629億円} \\ +94\text{億円}=723\text{億円} \\ (\approx 730\text{億円}) \end{array} \right\}$$

■□ 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画 第3期戦略プラン 隠岐圏域 □■

H30年7月 島根県隱岐支庁農林局

1 隠岐牛産地強化プロジェクト

U1 ターン等による担い手の育成確保、家畜市場・共同利用施設と牧野の組み合わせた新たな生産・流通システム確立により、隠岐牛生産基盤を強化

2 隠岐の特色ある水田農業推進プロジェクト

藻塩米の定着や新たな特色ある米づくりに併せ、地域振興作物の生産・品質向上、新たな販路対策等や、担い手の法人化を推進し、農業経営の安定を図る

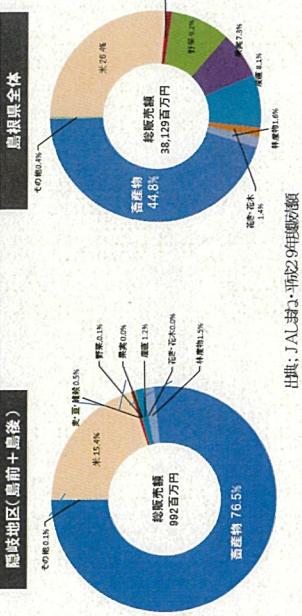
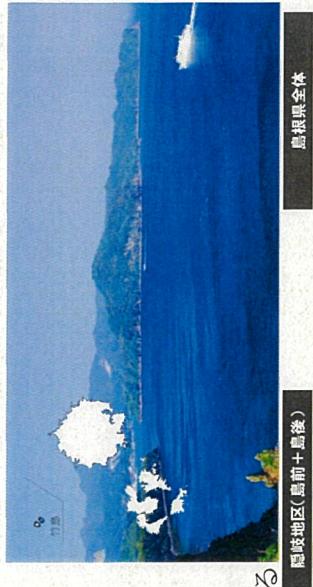
3 隠岐の地産地消プロジェクト

直売所が核となり、生産者等との情報共有により、需要に応じた農産物・加工品の生産推進、宿泊施設等の新たな需要先の拡大を図る

1 隠岐（しま）の木生産拡大・再造林プロジェクト

2 隠岐（しま）の木利用拡大プロジェクト

3 隠岐しいたけ振興プロジェクト



出典: JAしま・JA島根・JA島根

PJ名	項目	現況 (H26)	単位	H28目標		H29目標		H30目標		当該年度達成率	摘要
				実績	実績	実績	実績	実績	実績		
隠岐1 隠岐牛産地強化	新規就農者数(H27～H31)	総合戦略	0	人	3	7	11	11	15	114%	
	和牛子牛生産頭数(登記頭數)	総合戦略	1,290	頭	1,310	1,330	1,350	1,356	1,370	102%	
	就農支援制度策定町村数	地域独自	0	町村	1	2	2	3	4	100%	
	肥育牛出荷頭数	地域独自	162	頭	172	182	192	209	204	115%	
隠岐2 隠岐の特色ある水田農業推進	農業法人数	総合戦略	12	法人	13	14	14	14	15	114%	
	主食用米の契約取引率	総合戦略	20	%	22.0	24.0	26.0	26.6	30.0	93%	
	WCS用稲の作付面積	地域独自	26	ha	33.5	35.0	36.5	42.4	38.0	121%	
隠岐3 隠岐の地産地消推進	核となる直売所の農産物等販売額	県共通	7,485	万円	7,700	8,000	8,200	8,400	8,279	103%	

平成29年度 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画

第3期戦略プランにおける農業・農村戦略の取組概要～

プロジェクト名 隠岐牛产地強化

【ねらい】
U-ターン等による担い手の育確保、家畜市場・共同利用施設と牧野を組み合わせた新たな生産・流通システム確立により、隠岐牛生産基盤の強化を図る。

【主な成果○と課題◆】

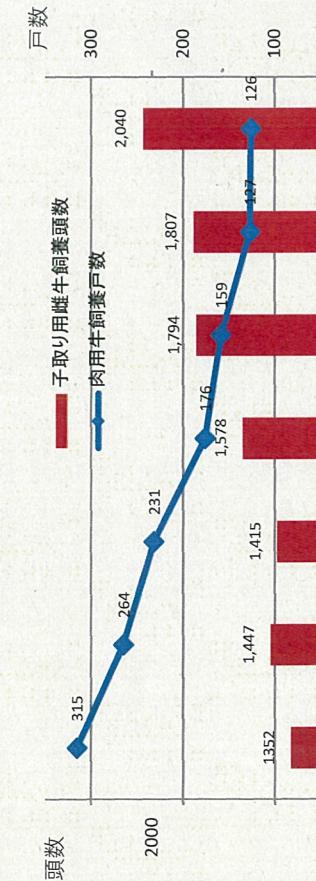
- 知夫村では新たに就農受入体制を整備し、半牧半Xモデルにより、和牛子牛の増頭（+52頭）が進展
- ◆稻WC S、牧草、稻わらの生産・利用拡大による飼料生産基盤の強化
- ◆牧野機能向上

成果指標項目	H29年度		H31目標	
	目標	実績	目標	実績
新規就農者数	総合戦略 (H27~29累計)	7人	8人 (H27~29累計)	15人 (H27~29累計)
和牛牛生産頭数	総合戦略	1,330頭	1,356頭	1,370頭
新規就農支援制度策定町村数	地域独自	2町村	2町村	4町村
肥育牛出荷頭数	地域独自	182頭	209頭	204頭

隠岐牛の現状

平成29年度取組状況

肉用牛飼養戸数及び繁殖牛飼養頭数



肉用牛飼養戸数・年齢別割合

和牛繁殖農家・規模別割合

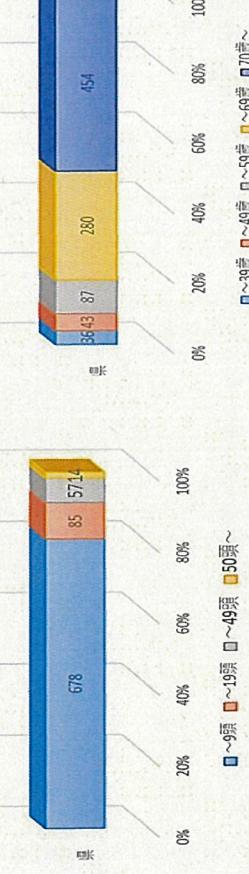


2 島放牧を支える牧野整備

- ・公共牧野面積は、約4,500ha
- ・海士町：1,434ha
- ・西ノ島町：2,296ha
- ・知夫村：654ha
- ・隠岐の島町：276ha
- ・放牧力の向上
- ・小型耕作機等



3 家畜市場の再整備



- ・家畜市場(西ノ島町、隠岐の島町)の整備による流通の効率化

平成29年度 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画

プロジェクト名 | 隠岐の特色ある水田農業推進

【ねらい】

藻塩米の定着や新たな特色ある米づくりの取組みに併せ、地域振興作物の生産・品質向上対策、新たな販路対策等を講じるとともに、担い手の法人化を推進し、水田を活用した農業経営の安定化を図る。

【主な成果〇と課題◆】

〇若手米屋グループと連携し、1.95mm筛选の「きぬむすめ」の販売を開始

〇WCS用稻の作付面積が、収穫作業の効率化によって、44haに拡大(前年比113%)

◆特徴ある米（「藻塩米」「海土の本氣」）のブランド力の維持強化と販路拡大

◆担い手不在地区での集落営農組織の設立・法人化

水田農業の現状

水田の作付実績(H29年度)

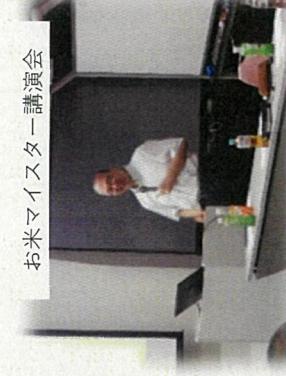
区分	水稻						生産調整				小計	総計
	コシヒカリ	きぬむすめ	つや姫	酒米	もち米	WCS用稻	飼料作物	大豆	その他			
海士町	66	5	3	1	2	77	70%	7	14	2	10	33
隠岐の島町	228	69	6	10	12	325	57%	35	50	8	153	246
計	294	74	9	11	14	402	59%	42	64	10	163	279

単位：ha

平成29年度取組状況

1 特色ある米づくりの推進

- ・藻塩米：若手米屋グループに、1.95mm筛选の「きぬむすめ」を販売
- 藻塩「きぬむすめ」の栽培面積が拡大(3.4ha→7.6ha)
- 美味しまね認証授与式

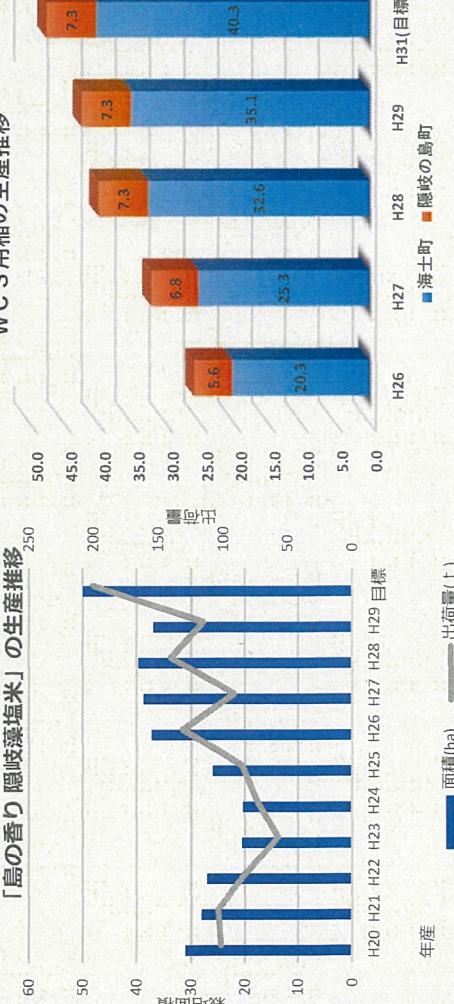


2 地域振興作物の安定生産

- ・WCS用稻：小型収穫機を導入し、小規模ほ場向け作業体系を構築
- ⇒収穫作業の効率化等による作付面積の拡大



WCS用稻の生産推移



平成29年度 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画

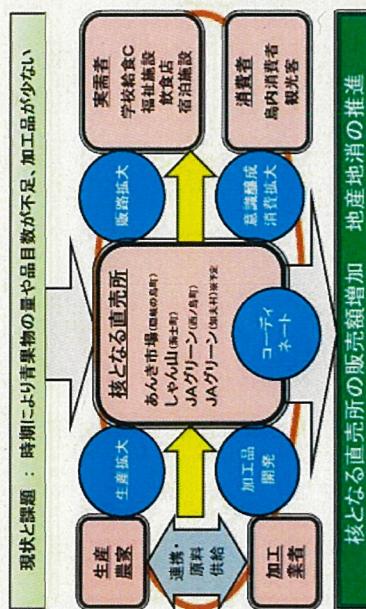
～第3期戦略プランにおける農業・農村戦略の取組概要～

プロジェクト名 隠岐の地産地消推進

【ねらい】
直売所が核となり、生産者等との情報共有により、需要に応じた農産物や加工品の生産の推進、宿泊施設等新たな需要先の拡大を図る。

【主な成果〇と課題◆】
 ○直売所間連携による不足品目（農産物・加工品）の販売機会の拡大
 ○栽培実証圃の設置や重点品目の推進による学校給食向け供給量の増加
 ◆作期拡大や新規会員掘り起こしによる農産物の供給体制の充実
 ◆新規生産者向け経営モデルやリースハウスの設置等新たな支援策の検討

地産地消の現状



-1-

成果指標項目	現況(H26)		H29年度		H31目標
	目標	実績	目標	実績	
核となる直売所の産直物等販売額	県共通	7,485万円	8,000万円	8,279万円	8,400万円

平成29年度取組状況

1 農産物等の生産拡大

- ・学校給食野菜の巡回指導、栽培実証、講習会開催等による出荷誘導
- ・地域農産物等を活用した新商品の開発
- ・売り場改善による店舗の利便性向上



学校給食向け野菜の巡回指導



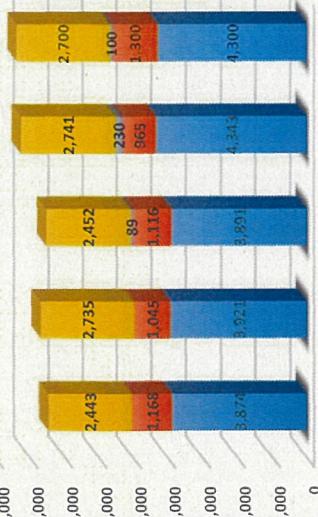
乾燥食品研修会

2 担い手の掘り起こし

- ・学校給食向け半農半X営農モデルの策定
- ・リースハウス制度等の検討



産直生産者の年齢構成



■ 西ノ島 ■ 海士町 ■ 知夫村 ■ 隠岐の島町
 ■ ~49歳 ■ ~59歳 ■ ~69歳 ■ ~79歳 ■ ~80歳

- 【半農半Xモデル】**

①給食野菜（施設野菜）を想定した経営収支モデル
(品目 キュウリ、コマツナ、ホウレンソウ、葉ネギ)

②9haのハウス面積での4品目を周年栽培

③粗収益(385万円) - 経営費(182万円) = 所得(203万円)

株式会社だんだん牧場の概要

1. 会社概要

- (ア) 名称：株式会社だんだん牧場
- (イ) 所在地：隠岐の島町港町大津
- (ウ) 代表者：代表取締役 宮川則男
- (エ) 設立日：平成 22 年 12 月 24 日

2. 経営規模

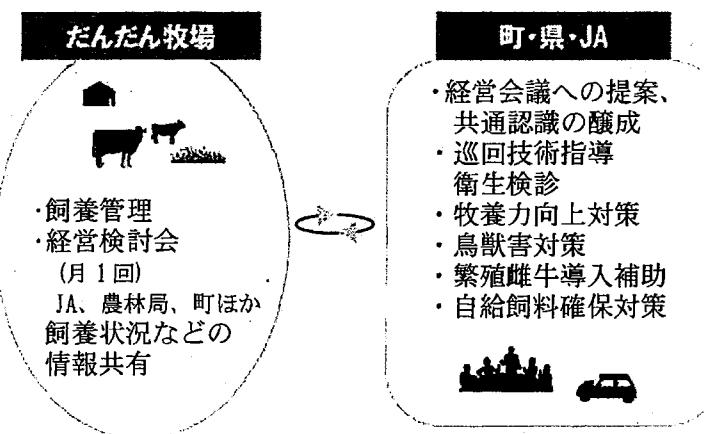
- (ア) 経営形態 肉用牛繁殖経営
- (イ) 飼養規模 繁殖雌牛 247 頭 (H30. 3)
⇒ 平成 30 年度目標 250 頭
- (ウ) 施設等整備

牛舎 4 棟、哺育舎 1 棟、隔離牛舎 1 棟
堆肥舎 3 棟、飼料庫 1 棟、管理棟 1 棟

(エ) 放牧

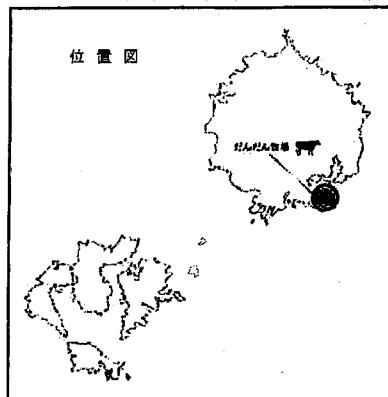
隠岐の島町の公共放牧場を主に活用

3. 町・県・JA の支援



4. 現状 (H30. 3)

- (ア) 授精状況 受胎 130 頭 / 231 頭
- (イ) 初回受精月齢 15.1 ヶ月齢 (県指標 13~15 ヶ月)
 - 空胎日数 1 産後 172 日
 - 2 産後 122 日
 - 3 産後 107 日 (県指標 100 日)
- (ウ) 出荷状況 (西郷家畜市場)
 - 平成 29 年度出荷実績
 - 去勢 106 頭 (平均価格 602.8 千円)
 - 雌 39 頭 (平均価格 542.2 千円) ※税抜



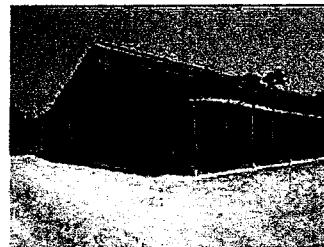
【活用した主な国・県事業】

- 平成 24 年度 隠岐島後地区草地畜産基盤整備事業
- 平成 23 年度 企業参入・連携支援事業
- 平成 24~26 年度 企業参入促進・経営強化事業



【西郷家畜市場】

(市場は年 3 回 (3 月・7 月・11 月))



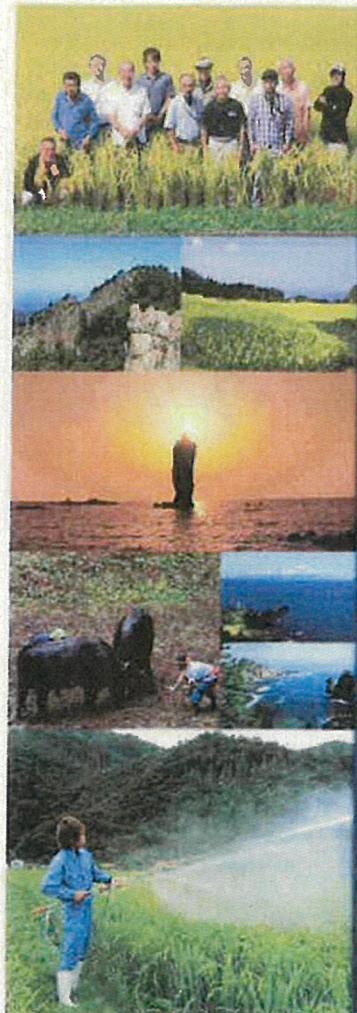
【H27 年建築・新牛舎】

炊きあがりはふつくらモチモチ。

時間が経つごとに「甘み」と「しつかり感」が増してくる。
「甘み」、「香り」、「しつかり感」が特徴の独特なお米です。

隠岐世界ジオパークの大地が育む

島の香り 隠岐
藻塩米



おいしさの秘密は、微量に含まれるミネラルにあります。日本では珍しいアルカリ岩からなる隠岐の島の水と土で育ち、さらに、海水と海藻由来の天然塩「藻塩」を溶かした水溶液を真夏に散布することで、根と葉の両方からマグネシウムなど海のミネラルを吸収させています。

「島の香り 隠岐藻塩米」は隠岐の島でしか作れない隠岐の島ならではの恵みが詰まっています。

隠岐の島町の概要

面 積: 242.83km²

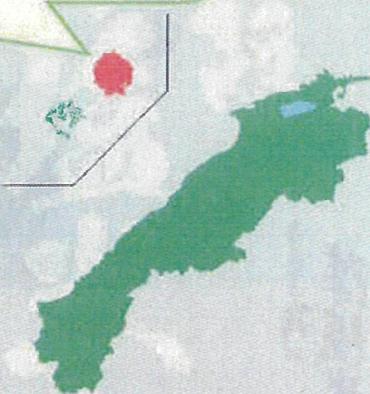
人 口: 14,397人(平成30年6月1日現在)

水稻面積: 約351ha

主な品種: 「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」

隠岐ユネスコ世界ジオパークに認定!(平成25年9月~)

雄大な海洋や独自の生態系など地質学・生物学的にも貴重な資源が豊富



★ジオパークとは

- ・世界的に貴重な地形・地質や美しい自然環境を有すること
- ・それらをうまく利用した人々の暮らしや文化、歴史があること
- ・この取り組みを持続可能な方法で継承する仕組みがあること など

隱岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会について

隱岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会（旧 藻塩米生産者協議会）

部会員数：19名（平成30年度）

生産面積：36.8ha（平成30年産）

（コシヒカリ26.0ha、きぬむすめ10.8ha）

生産数量：115.74t（平成29年産）

（コシヒカリ84.27t、きぬむすめ31.47t）



主要作物

【コシヒカリ】

・島の香り 隠岐藻塩米 一般コシヒカリ

・島の香り 隠岐藻塩米 特選コシヒカリ

・隠岐世界ジオパーク米 島の香り 隠岐藻塩米 特選コシヒカリ

【きぬむすめ】

・島の香り 隠岐藻塩米 特選きぬむすめ



2

「島の香り 隠岐藻塩米」の栽培特色

一般的な米づくり



田植え

5月頃



追肥

7月頃



出穂

8月頃

収穫

9月頃

藻塩水溶液散布



「藻塩」の水溶液を散布

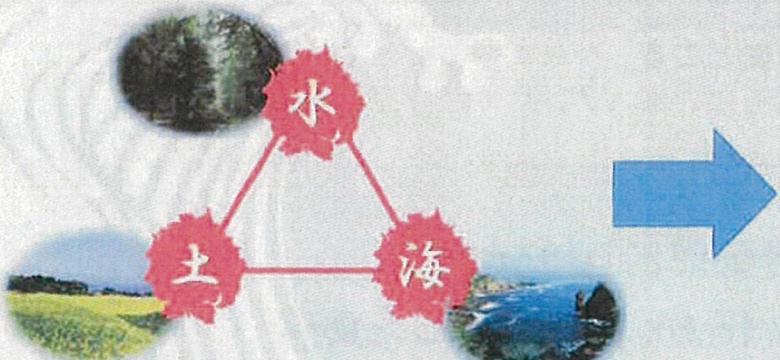


3

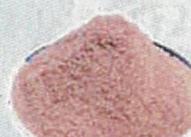
「島の香り 隠岐藻塩米」について

「島の香り 隠岐藻塩米」とは

以前行われていた海藻を肥料にする農法を
現代風にアレンジさせて復活させた農法で栽培！



隠岐の島の独自の環境で
隠岐でしかできないお米を
生産する！



これがミネラルと
旨味たっぷりの
藻塩です！

海の恵み「藻塩」

隠岐の島近海で汲んだ海水と海藻(アラメ)を煮詰めた
天然塩「藻塩」は、食塩(海水塩)と比較して、
マグネシウム(110倍)・カリウム(7倍)・カルシウム(17倍)と、
ミネラルを豊富に含んでいる。

※藻塩は1,000kgの海水からわずか20kgしかできないとても貴重な塩です！



4

藻塩水溶液を散布する効果

藻塩水溶液を散布する効果は？

1. 稲の葉と根の両方から海のミネラル「藻塩」の成分を吸収させる。
2. 塩によるストレスを与える。
3. アミノ酸の含有量が高くなる。

下記3検体のアミノ酸含有量を日本食品分析センターにて比較

- ・平成29年産 隠岐産コシヒカリ
- ・平成29年産 島の香り 隠岐藻塩米 特選コシヒカリ
- ・平成29年産 島の香り 隠岐藻塩米 特選きぬむすめ

隠岐産コシヒカリに比べ、島の香り 隠岐藻塩米の2検体の
アスパラギン酸(旨味を高める)・グルタミン酸(実・根の生育促進)などの
アミノ酸含有量が平均で5%程度高い結果となった。



「旨み」「しっかりした食感」「香り」などの特徴がある
「島の香り 隠岐藻塩米」が生まれる！



5

29年産(藻塩コシ)の成分分析による特徴

 玄米タンパク値がやや高い(静岡製機TM3500)

→ 6.0~7.6%【平均:7.3%】なつかしい香りと味わい

※静岡製機担当者に問い合わせたところ、タンパク質はアミノ酸の集合体であり、アミノ酸含有量が高くなれば、タンパク値が高くなることが推測されるとのこと。

 アミロースがやや高い(静岡製機TM3500)

→ 15.9~17.6%【平均:16.6%】しっかりした食感

 旨味成分(アミノ酸等)・塩味成分が高い(味香り戦略研究所)

→ 時間が経つと、旨味・しっかりした食感が増す

6

土壤の特徴および対策

★特徴1. 火山灰からなるきめの細かい強粘土質

★特徴2. 苦土(マグネシウム)が濃厚で県平均の約2.5倍!

★対策 . 平成28年~30年の3ヵ年集中対策の実施

土壌改良材の強制投入

→隠岐の島の土壌の特色を最大限に生かすため、元気な根を育て藻塩米の特徴をより引き出す。

土壌分析による不足成分肥料の強制投入

→不足成分の強制投入により、土壌を均一にすることで、品質の統一と向上を図る。

7

平成29年産目標達成状況(コシヒカリ)

	目標値	平成29年産平均値
食味値	80点以上	79点
タンパク	7.0%以下	7.3%
千粒重	22.0以上	22.0
整粒歩合	一般：70%以上 特選：80%以上 ジオ：80%以上	一般：75%以上 特選：80%以上 ジオ：80%以上

8

平成29年産目標達成状況(きぬむすめ)

	目標値	平成29年産平均値
食味値	80点以上	76点
タンパク	7.0%以下	7.9%
千粒重	23.0以上	23.0以上
整粒歩合	80%以上	85%以上

9

平成30年産米の気象および生育状況



平成30年度の気象状況

降水量：4月から5月にかけては**例年より多く**、5月下旬から**梅雨入りしたもの**の、**例年より少ない降水量**となっている。

気温：平均でみると**例年より高め**の気温で推移しているが、
日ごとの寒暖差が激しかった。

日照時間：4月は**例年よりも多い時間**で推移したが、
5月～6月は**例年より少なめの時間**となっている。



平成30年度の生育状況

- 受光態勢、分けつともに良好で生育順調している。
- しかし、一部地域では藻が発生し、生育に影響しているところもある。
- イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、イネクロカメムシの発生
→被害が懸念されるため、注意深く観察する必要あり。

10

平成30年産島の香り 隠岐藻塩米(コシヒカリ)ブランドシート

名称	島の香り 隠岐藻塩米 一般コシヒカリ	島の香り 隠岐藻塩米 特選コシヒカリ	隠岐世界ジオパーク 島の香り 隠岐藻塩米 特選コシヒカリ
環境	産地	島根県	
	地域	島根県隠岐郡隠岐の島町	
	品種	コシヒカリ	
	生産者	隠岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会19名(1名増)	
技術	安全	指定肥料・農薬：慣行栽培	指定肥料・農薬：特別栽培5割減 美味しまね認証者
選別品質目標値	網目	1.90mm	1.90mm
	色選	色選なし(一部あり)	色選あり
	食味値	目標値75点以上 (藻塩散布で低下要因あり)	目標値80点以上 (藻塩散布で低下要因あり)
	タンパク	目標値7.5%以下 (藻塩散布でアミノ酸5%増)	目標値7.2%以下 (藻塩散布でアミノ酸5%増)
	千粒重	目標値22.0以上	目標値22.0以上
	整粒歩合	基準値70%以上(不作の場合2等以上)	基準値80%以上(不作の場合75%以上)
	流通	慣行栽培(特別栽培表示なし)・全農玄米袋	特別栽培米・コシヒカリ専用新玄米袋
流通	流通域	名古屋卸 →量販店等 JA本店 →県内外米卸→量販店等 JA直売(白米) →島内外宿泊飲食店等	(株)はくばく →米穀店→お客様 JA直売(玄米) →米穀店 JA直売(白米) →島内外宿泊飲食店等 一般消費者(ふるさと納税・販売促進等)
	集荷	個別調整	JAライスセンター調整
	規格外	島根米特別栽培米コシヒカリ(2等以上) JA直売(白米)・島内宿泊飲食店再調整流通	JAライスセンター調整
	特徴	旨味としっかりした食感 時間経過で甘み、しっかり感が増す 覚めても美味しいお米 日本食に相性良い	
PR面	提案	①旬魚貝の鮓 ②旬魚菜の煮物 ③旬魚の焼きもの ④旬魚菜の天ぷら ⑤旬魚の刺身	
	広報	JAしまね隠岐地区本部(3地区本部リーフレット、販売促進、取扱米穀店訪問、HP、FB、味香り戦略研究所分析継続販売戦略検討スズノブ(HP、販売促進)、はくばく	
	付加価値	味覚および健康機能性(葉酸・アミノ酸等)について島根大学生物資源学科と共同研究実施	

11

平成30年産島の香り 隠岐藻塩米(コシヒカリ)ブランドシート

名称	島の香り 隠岐藻塩米 特選きぬむすめ
環境	産地 島根県
	地域 島根県隠岐郡隠岐の島町
	品種 きぬむすめ
	生産者 隠岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会19名 (1名増)
技術	指定農業：化学肥料5割減 生産者はすべて「美味しいね認証」取得者（島根県版GAP制度）・GAP研修
選別品質目標値	網目 1.95mmのみ
	色選 色選あり
	食味値 目標値78点以上（藻塩散布によるアミノ酸増=静岡製機食味値低下要因あり）
	タンパク 目標値7.5%以下（玄米値：藻塩散布によりアミノ酸5%アップ）
	千粒重 目標値23.0以上
流通	整粒歩合 基準値80%以上（不作の場合75%以上）
	流通 特別栽培5減・きぬむすめ専用新玄米袋
	流通城 (株)はくばく → 米穀店 → お客様 JA直売（白米のみ）→島内宿泊飲食店、一般消費者（ふるさと納税・販売促進小ロット等）
	集荷 JAライスセンター調整
	規格外 島根米特別栽培米きぬむすめ（2等以上） JA直売（白米）・島内宿泊飲食店再調整流通
PR面	特徴 コシヒカリと比較するとややあっさり、旨味としっかりした食感、和・洋・中とすべてに相性良い
	提案 ①すき焼き ②地鶏のから揚げ ③旬菜八宝菜 ④白いか塩辛 ⑤岩のりおにぎり
	広報 JAしまね隠岐地区本部（3地区本部リーフレット、販売促進、取扱米穀店訪問、HP、FB、味香り戦略研究所分析継続販売戦略検討）スズノブ（HP、販売促進）、はくばく
	付加価値 味覚および健康機能性（葉酸・アミノ酸等）について島根大学生物資源学科と共同研究実施

12

29年度の取組内容

情報発信・販促資材・イベント

- ★隠岐の島の情報をfacebookで最低1日1回以上投稿する
→ドローンによる動画発信あり
- ★藻塩米Tシャツの有償提供
- ★藻塩米 3合パック用シールの有償提供



「ご縁三国結び米」共通取組(銀山・おおち・隠岐)

- ①お取扱い米穀店様へ 包装貼付用資材(シール)提供
- ②ご購入お客様へ 草花の種等付きリーフレット提供
- ③イベント 新米試食と農産物即売会開催



13

29年度の取組内容



美味しまね認証の取得の推進

→ジオ米生産者に限っては、島根県版GAPである「美味しまね認証」を取得し生産していたが、平成29年度より、特選きぬむすめ生産者も美味しまね認証を新規取得し、より安心・安全な「島の香り 隠岐藻塩米」を目指す！



美味しまね認証とは

島根県内で生産される農林水産物で、認証基準を満たす「高い安全性（安全で）」と「優れた品質（美味しい）」を兼ね備えた产品を生産する生産者・生産方法を、第三機関の判断をもとに知事が認証します。

平成29年度は3名の生産者に新規取得してもらい、全員で5名となった。
平成30年度も2名の生産者が取得に取り組んでいる。

14

30年度新たな取組



藻塩米の特徴を引き出す栽培の追及

→科学的な検証を基に、収量・食味等を指標にした栽培技術の確立を図る。



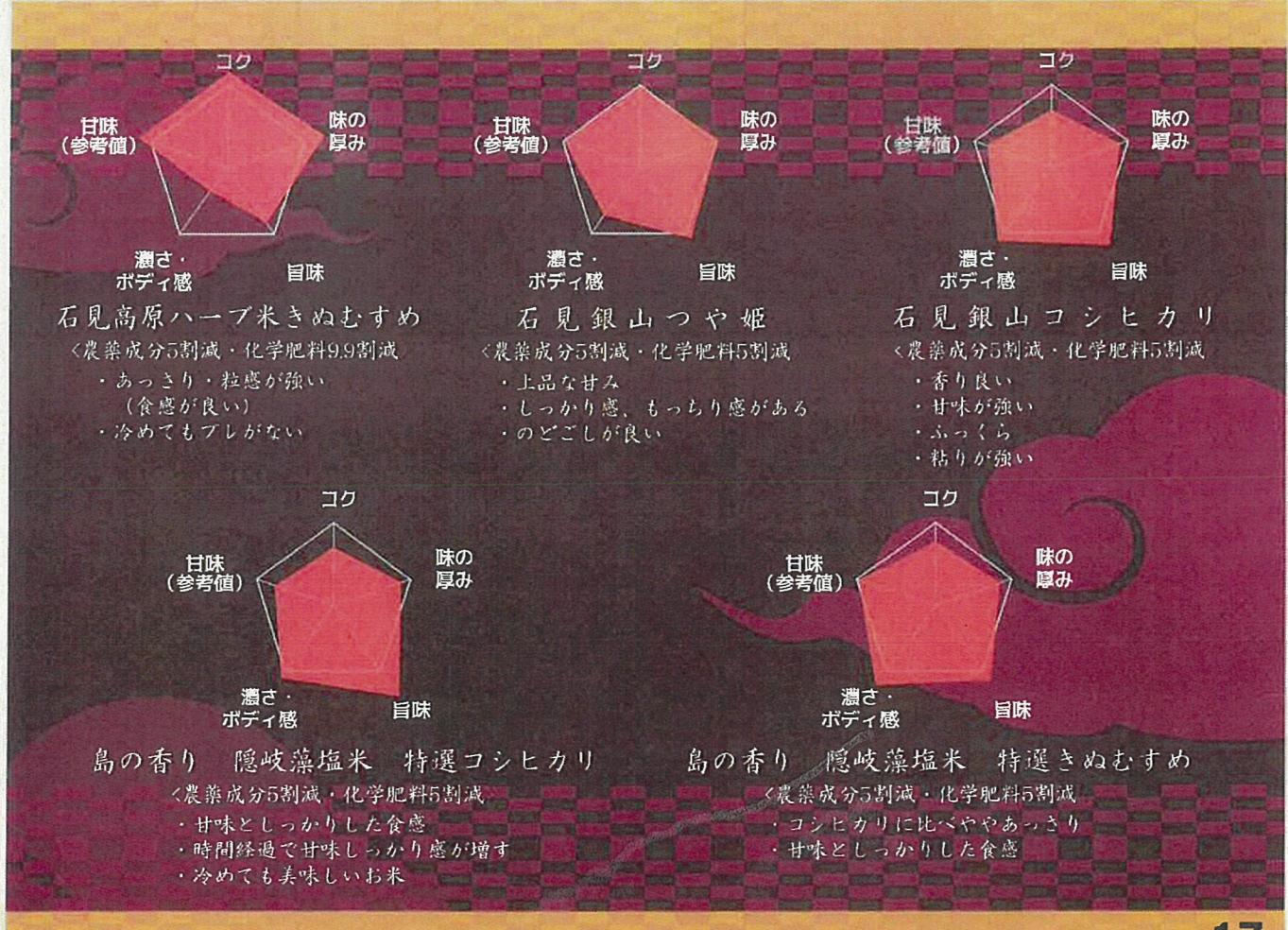
藻塩米の新たな特徴の提案

→島根大学 生物資源科学部との共同研究による、藻塩米の食味への影響と、健康機能性を提案する。
(高付加価値の追求)

15



16



17

ご清聴ありがとうございました。

**今後とも「島の香り 隠岐藻塩米」
よろしくお願ひ申し上げます。**

大峯牧野の概要

島根県隱岐支庁農林局

【牧野の概要】

- | | |
|---------|--|
| 1 所在地 | 隱岐郡隱岐の島町西村大峯 |
| 2 面 積 | 草地: 20. Oha (条例に記載されている面積)
林地: Oha
計 20. Oha |
| 3 制限頭数 | 20頭 |
| 4 放牧期間 | 5月1日～11月30日 |
| 5 維持管理 | 隱岐の島町牧野管理組合に委託管理 |
| 6 利用農家 | 隱岐の島町内畜産農家 |
| 7 放牧料金 | 月1,000円／頭 |
| 8 土地所有者 | 隱岐の島町中財産区(隱岐の島町が無償貸与を受けている) |

【団体営草地開発整備事業(国庫補助)実施状況】

- | | |
|--------|------------|
| 1 実施年度 | 昭和53, 54年度 |
| 2 事業費 | 26, 790千円 |

【その他補助事業実施状況】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 地方競馬全国協会事業 | 平成2年度以降実施 |
| 門戸 | 8年 1基(新設) |
| 道路舗装 | 8年 528m(新設) 419万円 |
| 牧柵設置 | 12年 700m(更新) 52万円 |
| 施肥・ダニ駆除 | (消耗品) |

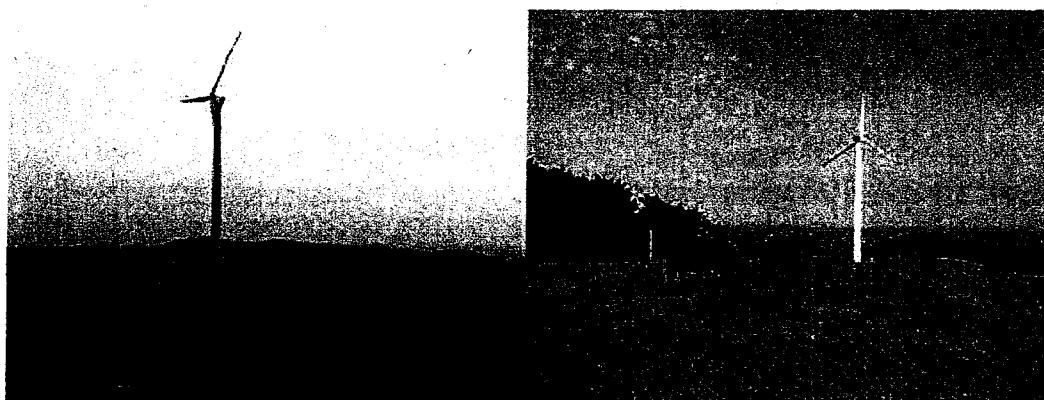


写真 大峯牧野における繁殖牛の放牧風景